

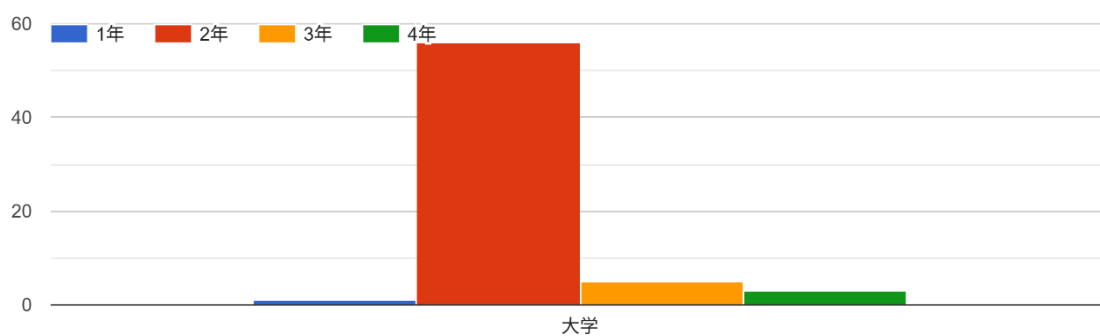
添付資料：事後アンケート結果

静岡大学 静岡キャンパス 学部生とシニアの対話会（2025年後期）アンケート

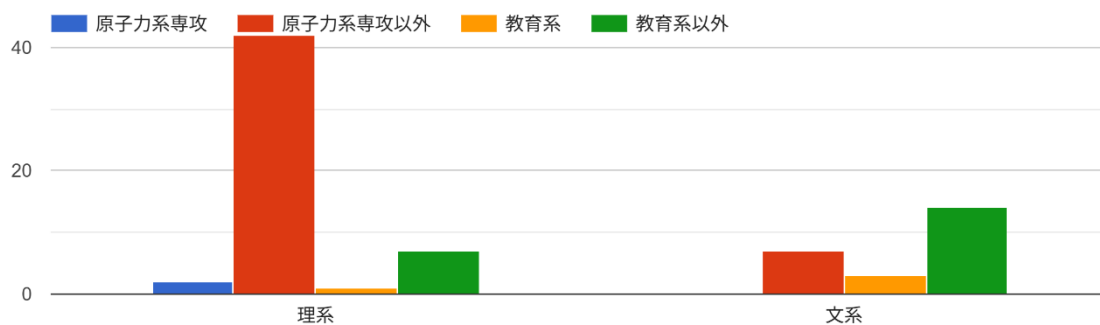
回答数 65 名（参加者： 学生 67 名）（回収率 97%）

I 対話会に関するアンケート

該当するものをチェックして下さい。（ 該当するもののみ残して下さい。）



学校の専攻について伺います。該当するものを...は専攻に近い理系または文系のいずれかを選択。

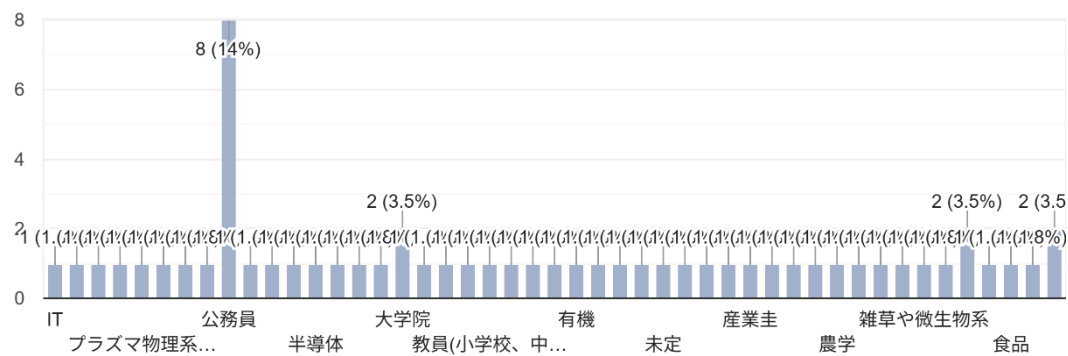


参加者一覧：合計 67 名

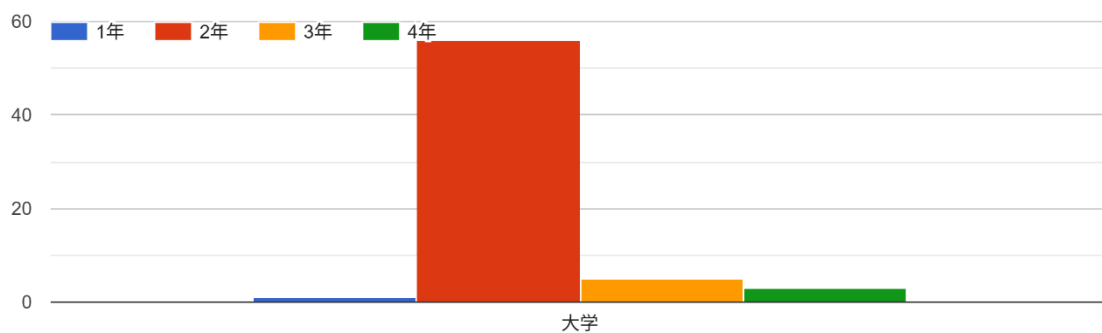
	2年	3年	4年	合計
人文学部	14	2		16
教育学部	4			4
理学部	27	4	2	33
農学部	14			14

分野・希望先（具体名は任意）

57件の回答

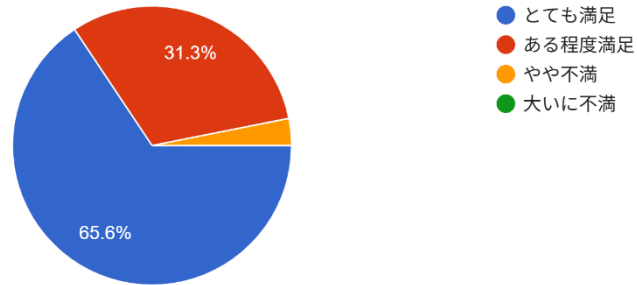


該当するものをチェックして下さい。（ 該当するもののみ残して下さい。）



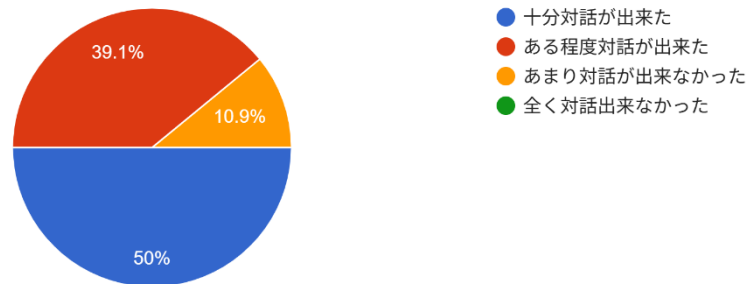
(1) 対話の内容は満足のものでしたか？

64 件の回答



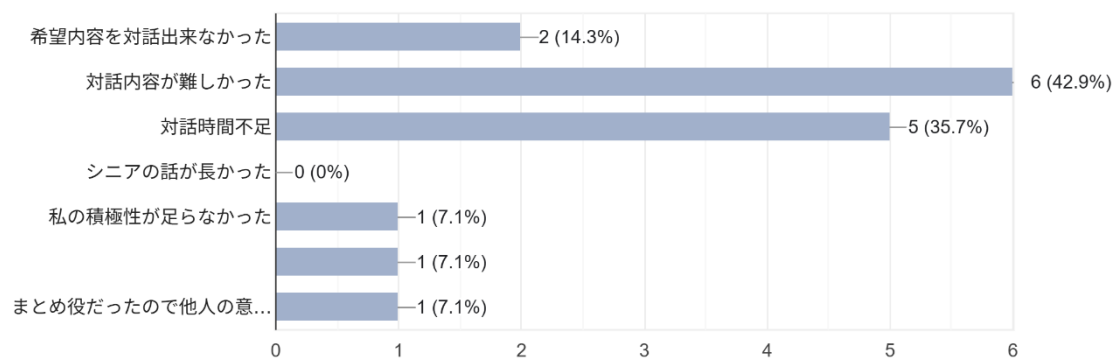
(2) 事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？

64 件の回答



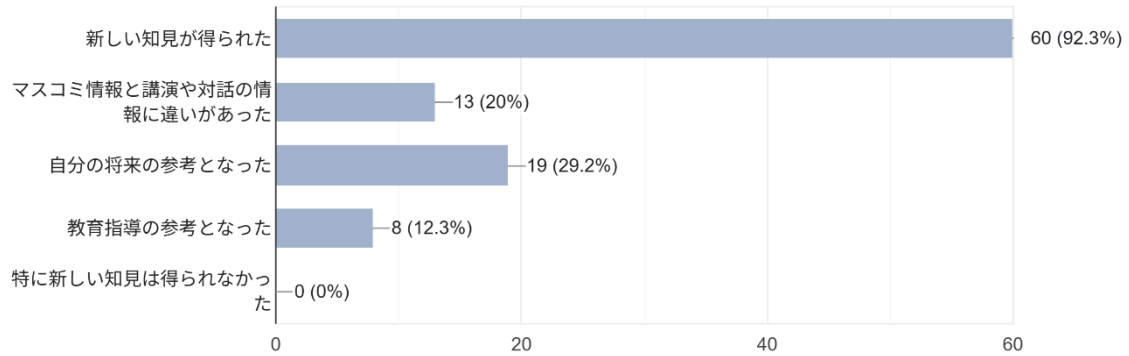
(3) やや不満、大いに不満/あまり対話出来なかった、全く対話出来なかった理由は？（複数回答可）

14 件の回答



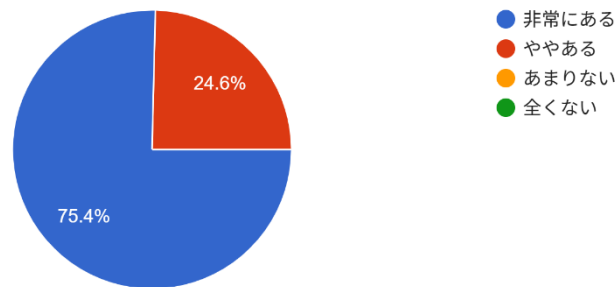
今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

65件の回答



「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

65件の回答



その理由は？

60件の回答

- 違った意見がもらえる
- 正しい知識を持つ人と思っていることを話し合ったり、新たな知識が得られて面白かったから。
- 世代ごとの知見の違いがあるから
- 専門家の意見が非常に重要だから。
- 普段の授業では聞けない話を聞ける。実際現場で働いている様子や社会の動きがよりわかりやすい
- 単純にシニアの方の豊富な知識を学んだり話を聞けることは自分にとってプラスになることが多かったから。
- 直接に環境問題について話を聞くことができる機会は貴重であるから。
- 質問に即座に答えてくださり、進行も学生の反応を見ながら適度なスピードで進めてくださいました。
- こちらだけだと知識不足
- 生きている年数の違いから来る経験値の差があるため、自分の知らない知識を新たに得ることができる。

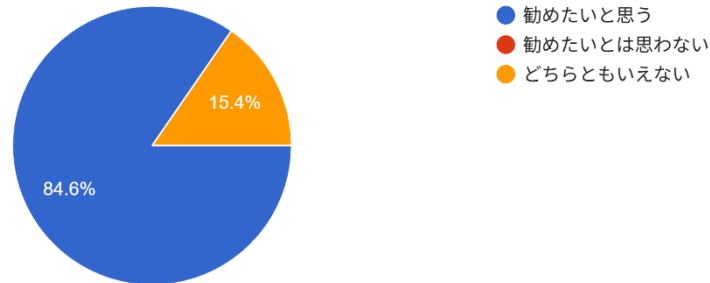
- 実際現場の声を聞けるのはかなり有益
- 自分が今まで知らなかったことが現場の意見で知ることができたため
- 学生には持っていない知識を得ることができる。対話することで新しい見方や考え方を得た。
- 普段は自分の考えを述べる機会がないが、自分が疑問に思った点をリアルタイムで答えてもらえる貴重な機会だったから。
- 核融合の専門家の方に直接、現在の発電所建設の状況について聞いたから。
- シニアの皆さんの知見量には目を見張るものがあり、若者同士だけでは解決できない問題の鍵を握っているように感じたから。
- 今回の対話で一人一人知識や意識に違いがとても感じられたので、世代間だとさらにそれを感じて、新しい知見を得られる機会にならと思ったから。
- 普段と違う見方の意見がきける
- その人にしか知らない情報、または意見考えがあるから
- 全く異なるものの見方をしているため同じ事象に対しても大きく異なる意見を持つから
- 新しい視点をお互いに得られると思ったから
- お互いが生きてきた時代背景や価値観が異なるため。
- それぞれの世代のリアルな悩みや不安が違っていることに気がつくから。
- 実際に現場で働いている方の意見や知識は日常では得難いもののためとても参考になり、知人にも伝えたいと感じたため。
- 多方面の角度から物事を説明してくれるから
- 自分とは違う世代の意見を得られるから
- みんなと話すことで知見を広め合い深める事が出来るから
- 経験や知識が豊富な人と少ない人数のグループで会話でき、知識をより深めることができた
- 授業内容がどのように実際の現場で活用されているのかが見えるようになり、理解が進んだから。
- 放射線を扱う現場の方の声が聞いたから
- ネットの情報だけでは得られない知識を得ることができた
- 専門の方の意見や考えが聞いて自分の視野が広がりました。
- 様々な視点から原子力防災について考えることができたから。
- 自分の知らない南海トラフと原子力発電の繋がりと事前防災について話すことができた。
- 若さと経験で互いに学べる余地が多い
- 私たち学生から見た視点と、専門家から見た視点が異なることがわかったから。
- 立場・知識量等が明確に違う人がいることが、より深い対話に繋がると感じたため。
- 専門的な内容まで深く知ることができるため
- 学生はその知識に触れることでより多くの知見を得られ、シニアは遠く離れた世代の考え方に触れて情報の伝え方等を改善できる
- 経験から得た貴重なお話があり、とても興味が持てたため。
- 実際にシニアの方々が経験したこと、考えたことについて知ることができ、新しい側面から物事を考え

ることができたから。

- 学生に比べて知識の量がすごいので、より話し合う機会を設けて学生の知見を深めるべきだと感じたから。
- 若い私には知らないことを教えてくださったため。
- シニアと対話することで、学生は問題を分析する力や理由を説明する力を身につけ、さまざまな視点から論理的に意見や考えを発展させることができるようになる。
- 学校では知識を得ることがメインだが、シニアから実体験を共有できるから。
- シニアの方が培ってきた考えや技術を容易に伝達することが出来ると考えたから。
- 新しい知見を得られたから
- 経験豊かな人の話を聞くことは学びに直結すると感じたからです。
- インターネットや生成系 AI を利用して知りたいことを調べても、的を得た回答が得られなかったり理解できなかったりすることが多いので、専門の方に話を伺って疑問点を解消したり新しい視点を得られることはすごく良い機会だと思ったから。
- 異なった視点、視野、考えたで議論できるから
- 社会で経験を積んだ先輩から話を聞くと全く聞いたことのない話を聞ける
- 今の自分にはない視点を得られたり、自分より長く生きられている分、より深い知識を持っていらっしゃるから学びが多い。
- ちょっとしたような疑問や質問を聞けたから
- 自分が知らない知識や見解を持っているため。
- シニアの実体験などの貴重な経験を若い世代に直接還元ができるから。
- 実際の経験談などから取り組みや課題のリアルな声を聞くことができ、タメになるから。
- 学校の先生から教えられる内容よりも実際に関わっている、近い人の意見や説明が聞けて為になつて
- 講義だけでは知れない部分や自分が少しでも気になった部分がより聞きやすい機会になるから
- 自分の考えを元にした疑問について投げかけ、それについて考え方から話してもらえるから
- 疑問に思ったことを最前線の方から聞ける為

今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

65 件の回答



その理由は？

59 件の回答

- 視野が広がるから
- 進路を決める上でも参考になる
- こうした機会がなければあまりエネルギーについて考える機会がないと思うから。
- 知識は大事だから
- わかりやすく、さまざまな意見を得られるから。
- 自分の知識をより深められるだけでなく、自分の考えてもいなかった視点からのアイデアや考えも聞けたためおもしろかったから。
- メディアやネットから得られる情報よりも芯を捉えていると感じられるものが多かったから。
- 原子力発電所への漠然とした不安が無くなりました
- 勉強になった
- 環境問題に対して、意欲的に考えている人が多いわけではないこと。また、討論をするときに事前知識が大切になっていると感じたから。
- 上でもかいたけど聞ける機会はこういう時じゃないとないので参加する価値は十分あると思うから
- 今まで知らなかったことを知ることができる。
- 他の学生からの質問や意見も聞けて、新しい知識が得られたから。
- 将来のことが聞けるから
- シニアの方が期待以上に喋りやすい雰囲気だったから。
- 他の人との知識や意識の違いがある中で同じテーマについて話すのが、新しい考え方を得るいい機会だと感じたから。
- 学生同士で原子力について話し合う機会は少ないため。
- 会自体の流れ、進み方が不明瞭であり、シニアも困惑していた
- 自らの意思で行うことで意味があるように感じたから
- 実際に現場に携わっている方のお話を聞くということに意義があると思うから
- 専門家の方々からの意見を聞くことができるため。

- 一人では気付けないことや、そもそも考えもしなかったことがたくさんあるから。
- 同じで、非常に貴重な意見知識が得られるため
- 色々なことを知れる
- いいたいけんだったから
- 知見を深める事が出来るから
- 授業より楽しかったから
- イメージがつかみにくい分野であるため、実際にその専門の方に話を聞ける機会が重要だと思うから。
- 今回の話が良い経験になったと思ったから
- 自分たちが意見した内容に根拠ある数字を付け加えて議論を深くしていただいたため。
- いろんな分野でエネルギーには関わると知って勧めたいです。
- 様々な分野の人と意見交換をすることで新たな視点から物事を考えることができ、今後の学校教育にも生かされと思ったから。
- 人数が多く、発言をするかどうか迷う場面が多くなってしまった。また、事前の学習も足りず思考する土台が脆くなっていたが、対話自体がタメになって面白かったため。
- 知識は多くて損はないため
- 異なる学部生から、様々な視点からの意見が得られ、自分も新たな意見を持つことができたから。
- 授業としてエネルギーと環境に関する知識を多少得た後だからこそ、対話に主体的に臨みやすいと感じたため。
- 核融合の分野について非常に理解が深まり、よりいっそう興味が強まったため。
- 放射線を題材にして人と話せる貴重な体験だと思う
- 自分からは思いつかないような問題への捉え方がしれて、視野が広がるため。
- 実際に様々な人と話し合うことで、多くの考えを知り、新しい学びとなるから。
- 学生との接点や意見の交換が楽しかったから。
- 意見交換の良い場所となったから
- 新しい知識を得たり、他人の意見を聞いたりするのが楽しいからです。
- 同上
- 対話をきっかけに新たに興味を持つ分野が現れる可能性があるから。
- 新鮮な情報で参考になりました。
- 知っておいて損はない分野であるから。
- 人から話を伺うことで気づけることが沢山あると今回の講義で認識したから。
- 対話形式であるので話が飲み込みやすい
- 様々な人の意見を聞くことができ、自分の考えも深められるから。
- 知ってる人が少なすぎて、少し話づらかった
- 自分と違う視点を持っているため。
- 対話会に参加することで、自分の考えや意見を改めることができるから。
- 実際の経験談などから取り組みや課題のリアルな声を聞くことができ、タメになるから。

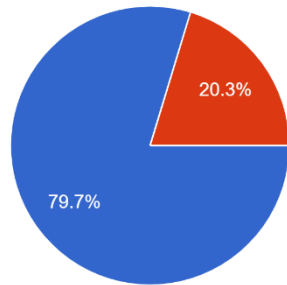
- 自分の周りからでも、原子力についての正しい情報を知って欲しいから
- それぞれの興味による。講義の拡張として行われるのはとても良いと思った。
- 話し合いをすることが好きでない人もいるから
- 未来あるエネルギーについて語り合いたいと思ったため。

II 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1. 放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 放射線・放射能の危険性について伺います。

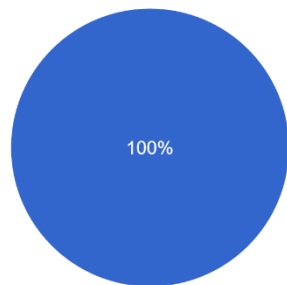
64 件の回答



- 放射線、放射能は日常的に浴びており、一定のレベルまでは恐れる必要はない
- 放射線、放射能は量(レベル)に関係なく怖い

(2) 放射線・放射能の生活における有用性について伺います。

64 件の回答

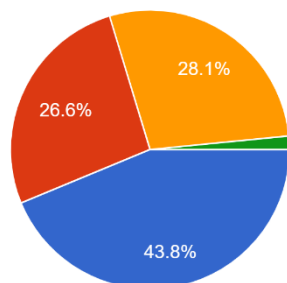


- 医療関係等で利用されており、生活に有用であることは知っている
- 生活に有用であることは知らない

2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1) 原子力発電について伺います。

64 件の回答



- 必要性を認識しており、再稼働を進めるべき
- 必要性を認識しており、将来に向け、新増設、リプレースを進めるべき
- 必要性を認識しており、2030年目標(原子力発電20~22%)を達成すべき
- 危険だから、早期に削減または撤退すべき
- 分からない

(2) 再エネ発電について伺います。

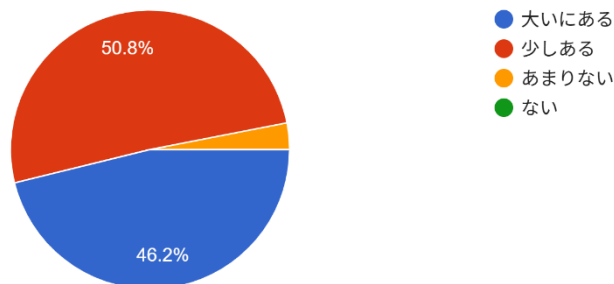
65件の回答



3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

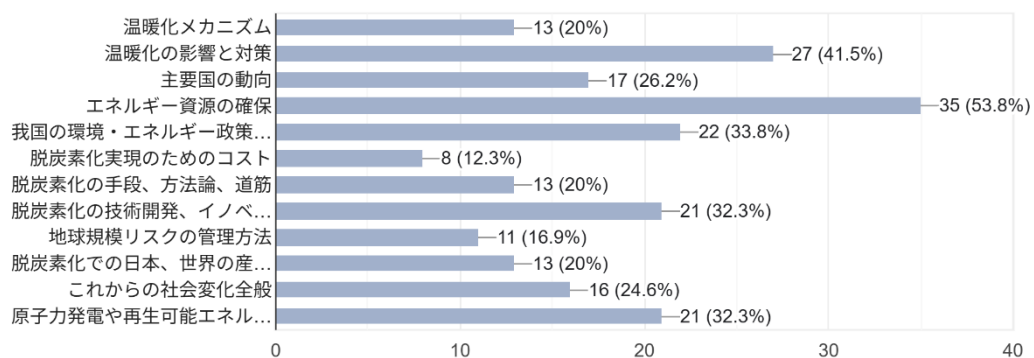
(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

65件の回答



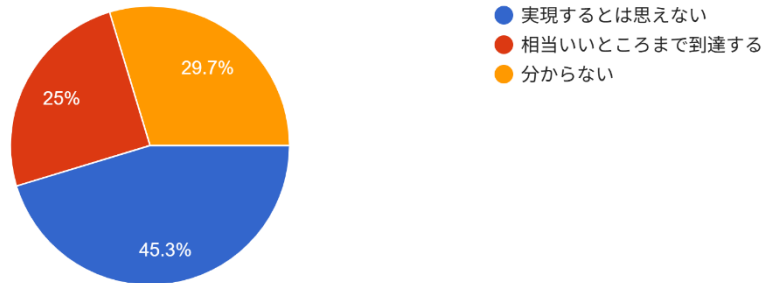
(2) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

65件の回答



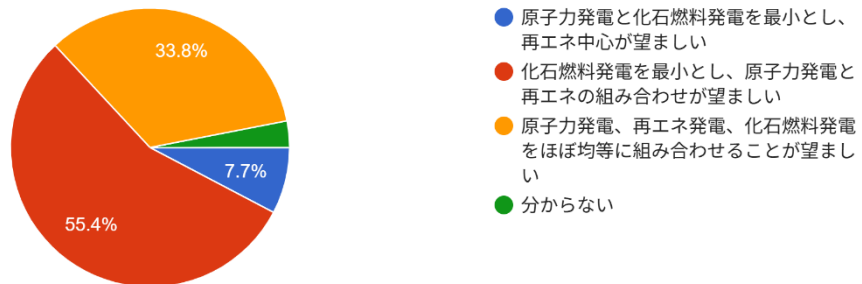
(3) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。

64 件の回答



(4) 脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。

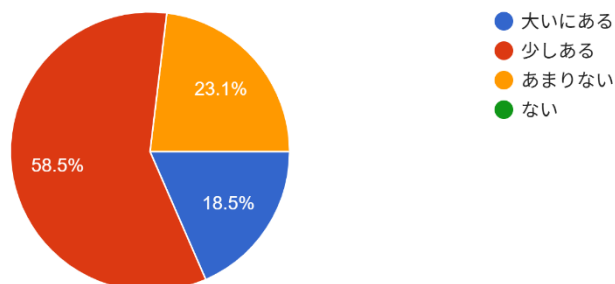
65 件の回答



4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

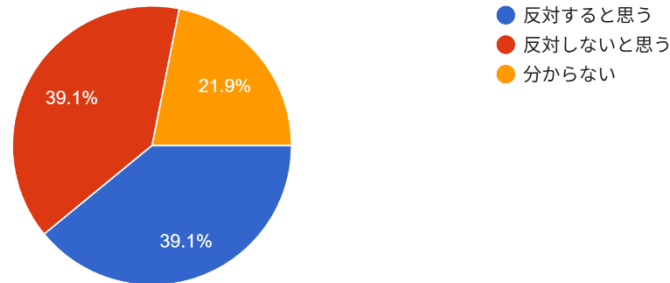
(1) 地層処分について関心や興味がありますか？

65 件の回答



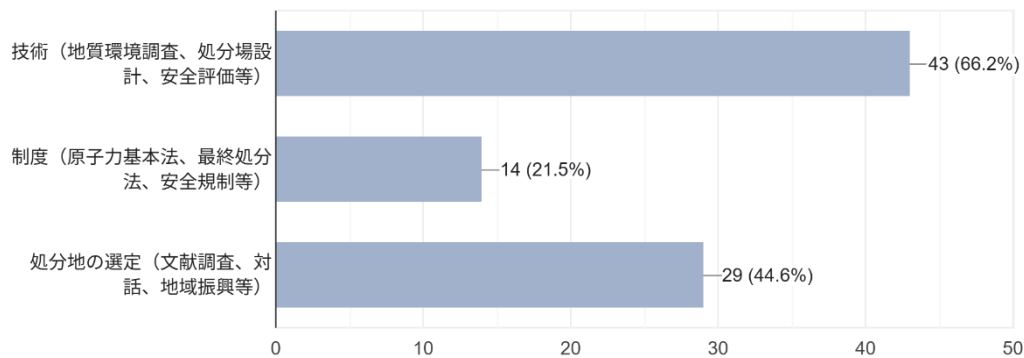
(2) あなたの住む地域や周辺地域で地層処分場の計画が起きたらどうしますか？

64 件の回答



(3) 地層処分について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

65 件の回答



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

36 件の回答

- 予想以上に意見交換の機会を設けて頂いたため、スムーズに話し合いが進んだ。
- 他の方の話も気になる。
- 初めは少し緊張しましたが、みなさんが自由に発言する雰囲気を作ってくれたので自分の意見も言えたり、皆さんの意見も聞けたので価値のある時間にすることができた。またシニアの方の意見があることによってさらに討論の質を高めることができたと感じた。
- 想像していたほど堅苦しい空気ではなく、柔らかい雰囲気の中かで、興味・関心を持った内容について議論することができた。
- 具体的な数字、課題をしれたのがかなり良かった。夢みたいな技術だと思ってたのが意外と遠くない未来なことを知って、ふんわりと興味があったのがかなり形をもって興味が持てた気がする。
- 楽しかったです！ありがとうございました
- とても面白く、対話の意味を感じる時間になりました。

- 本企画を通して防災について他学部や他学科の生徒と意見交換ができ、とても有意義な会議ができた。自分が思っていたよりも多くの人が防災について深く考えていることが分かり自分の未熟さを感じ、これからの防災教育に関して再び意欲が大きくなったことを感じた。
- 南海トラフ地震が起きた際の原発事故への対処などを少し知ることができました
- メディアの情報だけでなく、専門家の方々から聞くことも重要だと思いました。
- 話し合いの前にアイスブレイクが欲しい
- 東北の震災から月日が経ち、災害に対する関心が薄れつつある中で今一度新しい知識を入れ直し関心を持つとても良い機会になったと感じました。
- エネルギーと環境問題について今まで持っていた知識よりもはるかに多くのことを学べてよかった
- 私の疑問に思っ点はなかったが発電と環境の関係に対して深く議論出来たので満足した。
- とてもためになった
- 直接伺うことでしか聞けない細かい部分まで話を聞くことができたことがとても興味深く、勉強になった。
- 専門的な深い討論ができたと思う。
- 専門的な意見と学生の意見を交流することで新たな考えを見つけることができ、深い学びに繋がったと感じた。
- 原子力について防災という観点から意見を交換したことがなかったので、さまざまな発見があり、実りのある話し合いになったと思う。
- 静岡での原子力発電(南海トラフ地震との関連)について、興味があったので、それに関する対話ができよかった。
- 放射線については地震や津波のような目に見えた被害が起きないことが最大の問題に感じた。多くの人がその対策に関する歯切れが悪く、当たり障りのないことしか言えていなかったように思う。
- 今回の対談で、様々な分野を学び、様々な考えを持つ人たちと話し合うことができ、それぞれの側面から物事を考えていくことができ、自身の学びにもなる大変面白かった。今まで自身が学んでこなかった分野からの意見はとても新鮮で、とても興味深いと感じた。
- 時間が短くあまり全ての議題や話題について話し合えなかったのでよりスムーズに進められたらいいなと思った。
- さまざまな意見を原子力防災の観点からきけて良かったです。人によって意見がわかるかと思いきや、おおむね一致したことに驚きました。日本に住んでいると考えるべきことだと思うのでこの機会に話せて良かったです。
- 原子力発電について深い内容が学べた。また、少し前から疑問に思っていたことについて満足のいく回答が得られてよかった。
- 新しい知見が多く得られた。
- 核融合に関する知識を深めることができました。また、様々な所属の学生と話せたことで刺激を受けました。このような機会が増えると良いと思いました。
- 貴重な機会でした
- 一般の人は発電の仕組みや安全性の理論がわからなくて怖いと感じていると思うのでわかりやすく説

明して危ないイメージを払拭するのが大切だと感じた

- 初めて聞いたことが多く学びになった。
- 自分とは違う視点の考え方があり意見が広まった。例えば、経済面から見る人や環境面から見る人などの多様な意見が出てきた。ある問題について自分はコスト面を考慮して反対であったが、他の人の意見では発展・安定のために賛成のような対立するような意見もたしかにとなるような交流ができた。
- 自分の意見を現職の方に聞いてもらうことができ、意見を交わすことができ貴重な体験になった。
- 原子力についてディスカッション形式で話したことがなかったので、年が近い人の意見も聞けてたのしかった
- 理系の方の技術や努力などにとても感謝。
- 核融合の実用化に向けた世界の動き方について知ることができ、自分のやりたいことについて考える機会が得られた。
- とても楽しく議論ができました。

以上